

メンバーに聞く

国学院久我山高校ラグビー部現役時代の思い出・今

小松 昭夫 17期 FW6

現役に寄せる思い

現役に寄せる思いは何と云っても6回目の全国優勝である。右の資料見てもらいたい。これは全国高校ラグビー大会の通算勝利記録である。これを見てしても我が久我山高校は全国に於いて名門であるという事が云えよう。然し、然し最近では優勝の二文字が無い。昔の目黒、久我山のように全国に覇を唱えるべく頑張ってもらいたい。最近、九州の何とか高校とか、近畿の何とか学園とかが少し名を挙げて来ている様だが、それらをすべて蹴散らして東京に今再び大優勝旗を運んで来てもらいたい。

昔と違って今は、勉強とラグビーを両立させるのは大変であろう、又それ等を指導し、奔走される首脳陣の先生方の苦勞は並大抵ではないと思う。我等「マコちゃんズ」の

全国高校ラグビー大会の通算勝利記録

- ①秋田工(秋田) 131勝
 - ②天理(奈良) 100勝
 - ③常翔学園(大阪) 88勝
 - ④国学院久我山(東京) 85勝
 - ⑤大分舞鶴(大分) 76勝
 - ⑥常翔啓光学園(大阪) 60勝
 - ⑦日川(山梨) 58勝
 - ⑧東福岡(福岡) 56勝
 - ⑨目黒学院(東京) 53勝
 - ⑩伏見工(京都) 50勝
- ※1日現在。常翔学園は大坂工大高、常翔啓光学園は啓光学園、目黒学院は目黒から校名変更した

2014. 1. 3 毎日新聞



高年齢OBは和田 哲会長のもと、現役の、そして指導者の応援を一致団結して行おうではないか！

まだOB会費を払っていない者、今すぐに払え！

(社会環境の厳しい中大変だと思いが)。

グラウンドに顔を出して大応援をしようではないか！！

何もしないとその内ボケて死んでしまうぞ！！

何の為に生きて来たのか！久我山ラグビーを応援する為

ここ迄生きて来たのだと勝手に決めてがんばって行こう！！

全国のOB諸君、元気一杯生き抜いていこう！！

6回目の全国優勝を目指して進もうではないか！！！！！！！！

以上

(昭和40年久我山高校グラウンドにて・まだ若かりし頃)

マコちゃんズ監督 中村 誠先生 メンバーを語る

17期 小松昭夫の思い出

久我山のグラウンドは硬い黒土であった。小松選手タックルに入る(相手はどこのチームであったか?) タックルは外されて地べたにスライディング、右手(左手?)が、身体の下敷きとなり骨折! 「こんなになっちゃいました」と私の目前に出した手の平に指の骨が突き出ていました(開放骨折)。 骨接ぎ屋の私は得意になって引っぱってポキンと元に戻りましたが、突き破れた手の平からは出血ダラダラ。適当に包帯状の布で縛って、処置終了。(今の様にテーピングテープ等医療器具など揃っていない) そのままほったらかして、しばらくは指が曲がらないとか言っていたが。やがてほぼ回復。 卒業後教員となり教壇で白墨を持つのにも不自由なく全快す。昔の選手は豪傑でありました。

母一人で育てられた小松選手は、練習後、母親の内職の繕い物を届けに行く、など苦勞して学校生活を送っていました。



それぞれの時代、皆、苦勞して、努力して現在の久我山ラグビーを創って来たのです。それを受け継ぐ、現役諸君。及び、指導者。ガンバレ……。

第13回関東大会(昭和40年度・水戸)での記念写真 中村 誠先生(まだ20代の先生 怖エー 怖エー)と17期の面々。後列右端が小松昭夫選手